議長に島内正雄氏
副議長に岩原栄喜氏

十月二十一日の市議会議員選挙で選ばれた新しい市議三十人による〝組織議会〟――『第一四四回市議会臨時会』は十一月五日開かれ、新議長に島内正雄氏、副議長に岩原栄喜氏を、また各常任委員会、議会運営委員会の委員を決めたあと、監査委員選任についての一議案を可決して閉会しました。

今回の臨時議会は、新しい顔ぶれによる初めての議会。

当日は三十人全員が出席。議員生活の〝第一歩〟とあってやや緊張した面持ちの新人議員七人や、互いに握手を交わすベテラン議員の姿も。また、傍聴席には浜田一雄、松岡幸寿両前議員も…。今後の議会運営のスタートとして〝組織づくり〟が進められました。

まず、最年長の岩原栄喜議員を臨時議長に『議長選挙』が行われました。無記名投票の結果――

◎島内　正雄　十五票
　橋本　一二三　十四票
　（無効一票）

新議長に選ばれた島内議員から『市には財政問題をはじめ、たくさんの問題が山積みしている。また、国や県によって進行中、計画実施にうつされているプロジェクトもたくさんある。こうしたなかで議会のもつ役割りの大切さ、議長の職責の大きさを痛感している。今後は執行部と横のつながりをとりながら、市の発展と市民の福祉のために努めていきたい。』と、あいさつがありました。

このあと、議席の決定や副議長選挙、各常任委員の選任などを行い、副議長に岩原栄喜議員が選ばれ、各常任委員などは次のとおり決まりました。

また、十一月四日で任期満了となった市監査委員（浜田一雄氏）の後任として、岡崎俊一議員選任の同意についての議案が執行部より提出され、賛成多数で可決されました。

各常任委員も決まる

各常任委員会、議会運営委員会の委員は、次のとおりです。なお、◎印は委員長、○印は副委員長。

【総　務】＝定数八名
◎吉村雅男・○土居菊雄・橋本一二三・浜田健夫・島内正雄・堀川和夫・溝渕正・中屋宏二

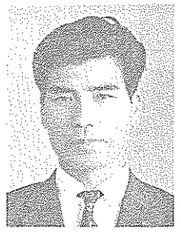
【建　設】＝定数八名
◎竹内淳輔・○徳橋一郎・野口幸重・大谷巌・小沢正澄・井上徳蔵・山岡誠喜・森尾稔

【産業経済】＝定数七名
◎山崎清重・○北岡益貴・松木二郎・岩原栄喜・西川誠男・岡林保・山本舜

【教育民生】＝定数七名
◎門田益治・○今井成子・竹田広実・島崎秋水・岡崎俊一・高島邦明・溝渕健夫

【議会運営】＝定数八名
◎橋本一二三・○浜田健夫・野口幸重・松木二郎・小沢正澄・島崎秋水・岡林保・溝渕健夫

■島内議長の横顔



大正十一年二月六日生まれ、五十七歳。昭和三十八年南国市議に当選、以来連続当選し今回で五期目。この間建設・総務各常任委員長、副議長、高知空港対策調査特別委員長を歴任。現住所は物部。

■岩原副議長の横顔

明治三十八年十二月二十五日生まれ、七十三歳。旧瓶岩村議を経て、昭和三十六年南国市議に当選。今回で五期目。この間、建設・教育民生・総務各常任委員長を歴任。現住所は宗崎。

訂正します

11月1日号2ページのなかで、井上議員の住所『山枝↓十市』、北岡議員の『現↓元』、『中屋宏二氏の当選は史上最年少議員の誕生』は過去に27歳の当選があり、それぞれ誤りでした。また、20周年記念号20ページの松木伝三さんの氏名が『松本』と誤っていました。ご本人はじめ関係者のみなさんにご迷惑をおかけしたことをおわびします。

ミニ広報　昭・38・11、天行寺の岡崎氏農林部門（林地肥培）で日本一、天皇杯を受賞。

第6回 南国市文化祭
展示、舞台に約1000人訪れる

第六回を迎えた『南国市文化祭』が十月二十八日から十一月四日までの八日間、中央、大篠両公民館を会場に開かれました。期間中、約二千人の市民が会場を訪れ、展示された力作や舞台部門の熱演に〝芸術の秋〟を満喫していました。

文化祭は、公民館学習やサークルを中心とした文化活動を通じて文化、芸術に対する理解を深め、生活にうるおいをもたせ、地域文化の振興をはかろう――と、四十九年から毎年開かれているもの。

展示会場の大篠公民館には、絵画や書道、写真、生花、工芸、陶芸など十一部門から約三百点の作品が展示されました。なかでも、陶芸部門では、中央公民館事業の一環として今年七月に開講した『陶芸教室（教室生約六十人）』の教室生の目頃の〝成果〟も多数出品されていました。

また、舞台部門は十一月三日、大篠公民館に七部門、約百五十人が出演、自慢ののどや踊りを披露し、観客から盛んな拍手をうけていました。翌日の四日には、高知市や土佐山田町、野市町などを招き、『中央地区文化交流会』ももたれ、交流を深めました。

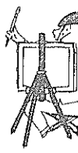
作品の展示をはじめ、数々の舞台部門、また、お茶席の開設や8ミリ教室の映画上映など、盛りだくさんの内容で年々盛りあがりをみせる『文化祭』、会場を訪れた市民は『今年で第六回、年々作品の内容もよくなってきている』『舞台部門では市外の人たちとも交流ができてなかなかよかった』と感想を、また、島村文化推進協議会長は『六年間の実績は市民の間に定着したように思う。出品、出演も毎年多くなってきており、会場のことや運営面などで反省点もあるが、今後も〝市民から盛りあげる文化祭〟として意義あるものにしていきたい』と話していました。

同和教育研究大会終わる

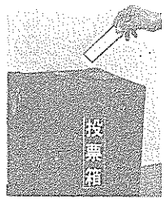
同和教育を全市民のものとするために、部落を解放する教育内容を創造しよう――と、『南国市同和教育研究大会』が十月十二日開かれました。

会は、大篠小学校など四会場に分かれた分科会と市民体育館での全体会で構成され、市内の保母さんや学校の先生、市職員など約五百人が参加、子どもの健康や生活、学習などの実態や行政の取り組み方の問題点などを出し合って熱心に話し合われました。

分科会は、①就学前教育　②健康教育　③障害児教育　④進路保障　⑤小学校低学年教育　⑥同中学年教育　⑦同高学年教育　⑧中学校教育　⑨高校教育　⑩社会教育　⑪行政　⑫子ども会活動、でした。これらの結果は、市内各学校独自の研究結果とあわせて、来年三月頃『同和教育のあゆみ』として発行される予定になっています。



高知県知事選挙
11月25日(日)投票
みんなそろって、自覚ある一票を



ミニ広報　昭・51・11、知事と空港拡張反対市民連合の話し合い。